

本年の課題共有会は、昨今の状況に鑑み、4月にオンラインで開催しました。本スカラシップの先輩スカラー(1~3期生)を交え、留学前後の課題や自身の留学がキャリアにどうつながるかなどについて、複数のグループに分かれた2023年度生(12期生)の間で活発なディスカッションが行われました。

また、先輩スカラーからは、各自の留学成果や留学中の印象深いエピソード、スカラシップの使用用途、留学と進路、今後の抱負といった点について、パネルディスカッション形式で発表してもらい、留学を控えた12期生にとって貴重なアドバイスとなりました。

先輩スカラーからのメッセージ

Message



スカラー2期生(男性、理系)
勤務先:陸運(日本企業)

長期間のプロジェクトを通じて育んだ人間関係と、各地で励ましあった留学生同士の絆

様々な国の学生とチームを組み、製品を考案して実用化するプロジェクトに参加。留学の成果が形として残ったことは嬉しく、その過程で非常に濃密な人間関係が築けたことはとても得難い経験でした。また、留学中は奨学生の同期と作ったブログで交流することもお互いの刺激となっていました。当時つけていた日記は、10年経った今でも、留学経験の素晴らしさを再確認できる記録になっています。



スカラー3期生(女性、文系)
勤務先:IT(米国企業)

人との関わりを大切に、興味を持ったことは積極的に学ぶ

留学先で興味を持ったことは何でも貪欲に学ぶことをお勧めします。私自身、課外活動で出会った人々や環境に刺激を受けて、留学中に専攻分野のほかにエンジニアリングについても学んだことが、今のキャリアに結びつきました。また、留学中は慣れない生活で大変ですが、周囲に配慮する余裕を持ち、人との関わりを大切にすると、帰国後も交流が続く仲間ができると思います。

2023年度奨学生の声~留学に向けて

Voice



豊かな学びで
チャンスを広げる

留学先は環境や福祉分野の先進国なので、これらの分野について多くを学び、その知識を自分の専門分野に活かしていきたい。また、興味を持ったことに対しては積極的に行動し、チャンスや人脈を広げるきっかけにしたいと思っている。



日本文化を再確認し
体験や交流も重視

自分の研究テーマについて、世界の研究者の知見を得ることが留学の一番の目的だったが、文化交流や体験も大切にしていきたいと感じた。また、以前海外に住んでいた頃、日本のことを聞かれても答えられなかったので、日本について再確認する必要性を改めて感じ、今度は日本代表として文化を広めたい。



あらゆる観点から
同じテーマを深める

観光を人類学や心理学の側面から学んできたが、留学先ではマーケティングなどの量的、統計的な観点から学んでいきたい。また、以前の留学では一歩踏み出しきれなかったことを反省し、今回は観光を軸に、積極的に各地域を訪れ、現地の人と交流して見聞を広げたい。



自分を見つめ直し
新しい視座を獲得

留学中は日本や自分自身について考える機会が多く訪れると思うので、現在の社会情勢についてもアンテナを張り、自分の意見を話せるようにしておきたい。また、留学を通して自分の視座を更新し続けるために、体力とものごとを見る力を鍛えておきたい。



語学力だけではなく
発信力にフォーカス

流暢な話し方などの語学力の獲得にこだわりすぎず、自分の意見や考えをしっかりと英語で発信できるようになることを目標としている。また積極的に議論に参加していく勇気も大切にしたい。それにより様々な経験を心得て帰国できると思う。